

NPO法人グリーンオフィスさやま主催

第2回『住みこなし会議』の報告

NPOじおす副代表理事 中村ルミ子



令和元年 9月28日（土）13時30分～15時40分
集会所 第1会議室

第1部 講演「高齢者の住まいづくり」

講師 権田和司氏

（有）町普請計画研究所代表

NPO 法人ところざわ福祉の住まいづくりをすすめる会（略称：とこすま）
副代表理事

NPO とこすま発行の小冊子「高齢期の住まいのことを考えておきたくなる小冊子」を参考にした講演でした。高齢期になってからストレスのない第二の人生を楽しむ場を作るためのリフォームのコツや、施設選びの注意点など高齢化率46%のハイツには大変参考になるお話しでした。自宅の庭を地域に開放する住み開きはハイツの場合無理かもしれませんが、空間資源として公園利用の提案をされました。イオンの移動販売がはじまったので、その日に合わせて公園でカフェを開いてはどうかなどのアイデアは、実現出来たら素敵です。

第2部 ワールドカフェによるワークショップ

ファシリテーター 中村ルミ子

テーマ「住みごこち」

- ・第1ラウンドの問い あなたにとって、住みごこちの良いところとは、どんなところですか？
- ・第2ラウンドの問い 住みごこち良い新狭山ハイツにするためには、どんな工夫や知恵がありますか？



ふりかえりの付箋



アイスブレイカーでハイタッチ！

◎ "ふりかえり" のまとめ

【気づき（感想）】 36枚

- (ハイツは) 緑が多くて素晴らしい (10枚)
鳥の鳴き声がして良い。窓から山々が見える。身近に四季が感じられる。家庭菜園が借りられる。散歩が楽しい。など
- (ハイツは) 人との交流があるのが良い (6枚)
多様なたまり場。挨拶や立ち話できる人が多い。ご近所さんと遠からず近からずの間合いが良い。
- (ハイツは) 災害が少ない。(5枚)
- (ハイツの) 住みごころ (6枚)
間取りにゆとり(広さ)があって風通しがよくてグッド!。3階の住居がちょうど良い。バス停が近い32号棟。家ではリラックス出来る。外壁の色がシックリくる(金にかえられない)。
- 住みごころ良いのは (3枚)
冬暖かい住まい。日当たりが良い。空調設備がきちっとしていること。
- 自分の活動が世の中のためになっているのではないかと感じている。
- 日本住宅の縁側がとても良い。このハイツに垣根を越えていける場があれば。
- 大雨の時、道路が冠水してしまうので、工事をして欲しい。駐車している人が非常に困っている。階段の最上部まで水が上がってしまうので非常に不安。
- 電気工事、各室に電源を分枝して欲しい(分電盤改修)
- 外国人が増えている。

【アイデア】 24枚

- 公園の活用 (4枚)
小公園を使いやすく。使われていない遊具やベンチを、縁台とか野外卓にかえては。公園の砂場を無くし、体力向上の設備を設置する。
- コーヒーショップ (3枚)
水曜日カフェを始めては。移動販売+コーヒー屋台・駄菓子屋など。

- いろいろなお店 （3枚）
店舗を呼び込む。売店を設置する（いろいろな店を点在させる）
- 外国人との交流 （3枚）
外国人と会話出来る場づくり。など
- 若い人を呼び込む。 （2枚）
- 買物を持ち上げるためや、高い階のゴミ出し用にツルベを取り付ける。
- 野外の居酒屋（テラス）
- 新聞・雑誌が読める部屋＋福祉用具体験モデルルーム。
- 団地内にウォーキングコースを作る（フィットネス）
- 階段口を個性的にする。
- 交通の便を良くする。
- 窓を断熱にする。スロープを増やす。
- 夏祭りをもっとにぎわいあるものに！
- 生活歴史を記録する。

【行動宣言】 6枚

- イオンの移動販売やバスの利用が消失しないように、利用する。
- 各棟階段の住民が顔見知りになれるような機会を、もっとたくさん考えよう。
- 管理組合の理事を積極的に参加する。
- 集まり（コミュニティ）があったら積極的に参加し、情報や仲間を得よう。
- 実のなる木を植え、野鳥が集まる水場づくりを広げる。
- 小さなアイデアを取り上げることが出来るようにしよう。

全付箋数 66枚

まとめ・ファシリテーターの感想

今回は季節柄、他のイベントと重なり、参加者12名と少なめでしたが、楽しく活発な対話の場となりました。

権田先生のお話しは具体的で分かりやすく、その内容を参考にしながら、ワールドカフェによるワークショップを行いました。

テーマである「住みごこち」から見えてきたことは、大方の人が緑多く、災害が少ないハイツの住みごこちは良いと考えているのが分かりました。今回の面白いアイデアは、買物やゴミ出し用のツルベを取り付ける。そして、新鮮だったのは公園の活用です。権田先生の提案をきっかけに、少子化で使われていない遊具を縁台や体力向上設備にかえるなど、すでに多様なたまり場のあるハイツに、まだまだ空間資源があることの発見となりました。また、外国人が増えているとの気づきと、外国人との交流のアイデアは、新たなハイツづくりのきっかけとなりそうです。

ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。NPOじおすでは、今後も「住みこなし会議」を継続して、築80年を住み継ぐためのハイツを考えていきます。

ご協力よろしくお願い致します。